

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称：川崎市藤崎保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：中畑 直美	定員（利用人数）：120名 （利用人数：120名）
所在地：〒210-0804 川崎市川崎区藤崎1-7-1	
TEL：044-211-1306	ホームページ： https://www.city.kawasaki.jp/kawasaki/page/0000122459.html
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：1975年8月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：川崎市	
職員数	常勤職員：24名 非常勤職員：17名
専門職員	保育士：19名 看護師：1名
	栄養士（兼務）：1名 用務員：2名
施設・設備の概要	保育室：6室 トイレ：6ヶ所
	調理室・厨房：1 事務室：1
	洗濯・沐浴室1 休憩室1
	女子更衣室1 男子更衣室1
	調乳室1 教材室2
	倉庫3 備蓄倉庫1
	支援スペース（研修室1、遊戯室1） 園庭：有

③ 理念・基本方針

【保育理念】

〇子どもの権利を保障し、未来を担う子どもたちの生きる力を育む保育

【保育目標】

- ・心身共に健康な子ども
- ・友達と一緒に楽しく遊べる子ども
- ・自分の思いを豊かに表現できる子ども

【基本方針】

- ・一人一人の情緒の安定を図り、十分に身体を動かしいきいきと遊ぶ中で元気な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を育てる。
- ・子どものありのままの姿を受けとめ、感じたこと、考えたことを自分なりに表現する力や意欲を養い、主体的に園生活を送れるようにする。
- ・友達や異年齢児との関わりの中で思いやりの気持ちを育て、協力してひとつのことをやり遂げる力を養う。
- ・保護者と信頼関係を築き、協力しながら子育ての喜びを共感する。
- ・保育の専門性を活かし、地域に開かれた保育園として子育て家庭を支援する。

④施設・事業所の特徴的な取組

○「じゃれつき遊び」や「リズム遊び」など、園内研修を年間で行い、保育の中で全年齢で計画的に取り組んでいます。子どもの身体づくりや友達との関わりの深まりなど、その遊びの知識を得たり効果を感じながら実践しています。保護者にもその遊びの様子を発信したり、家庭での「じゃれつき遊び」を募集して保護者も一緒に取り組んでいます。

○今年度「子どもが主体的に遊べる環境」について全職員で取り組んでいます。広い園庭を使って、子どもが自ら遊びたいと思える遊具や経験させたい遊び、遊具棚の設置等を検討し、子どもの遊びの環境を見直しています。藤崎保育園は数年前から、「子どもの主体性」について学び合い実践しており、保育目標や保育方針の「自分の思いを豊かに表現できる子ども」や「主体的に園生活を送る」に通じるところです。

○令和4年度に施設を建て替え、園舎内に支援スペースができました。地域の子育て家庭が気軽に遊びに来れる身近な居場所となっています。講座や「あそびの広場」のような様々な事業などの実施もあり、普段の利用者数も増えてきています。また広い園庭に地域用砂場が別にあり、園庭利用のニーズも高くなっています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和5年10月20日（契約日）～ 令和6年3月21日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3回（2018年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

1)一人ひとりの子どもを受容し、子どもが主体的に活動できるようにしています
子ども一人ひとりを理解して子どもの個人差を尊重した保育を行っています。子どもの発達過程や家庭環境から生じる個人差を言葉や気持ち等から判断し子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮しています。職員は穏やかに話すように常に意識し、職員同士が声をかけあう関係性を大切にしています。子どもが十分に身体を動かせるように戸外遊びやじゃれつき遊びを行っています。園ではプロジェクトを作り、子ども達が自主的・自発性を発揮して友だち関係が深まるように、見守りや仲立ちをして援助しています。今年度は環境整備をテーマにして、飼育物や花壇、ピオトープ作り、園庭マルチパーツ等の環境改善に取り組んでいます。

2)食育や環境問題を学んで地域との交流に役立てています

職員は地域支援担当やプロジェクト担当、また川崎市市制100周年を記念した事業などのグループに分かれて各テーマに取り組んでいます。全体会議で進捗を確認し、検討し、学んでいます。環境プロジェクトではコンポストで堆肥を作り、畑で川崎市特産品の野菜などを育てています。堆肥作りから野菜の育成・調理といったサイクルを通して子どもたちがSDGsを体験しています。取組の様子を模造紙にまとめて園のロビーに掲示し、地域に活動を紹介しています。

3)研修計画のもと、職員は園内研修で遊びなどを学んでいます

「川崎市人材育成基本方針」「川崎市保育所等職員人材育成研修計画」に「期待する職員像」を明示して育成を行っています。「川崎市保育士人材育成ビジョン」をもとに、人材育成に必要な研修（階層別研修、キャリアアップ研修、職種別研修、課題別研修）があります。園内研修として「リズム遊び」「じゃれつき遊び」「SDGs」について担当を設けて学び、保育に活かしています。年間を通じて園内研修を行い、

「じゃれつき遊び」などを計画的に全年齢の保育で取り組み、子どもの身体づくりや友達との関わりの深まりなど、その遊びの知識を得たり効果を感じながら実践しています。保護者に遊びの様子を発信して、家庭での「じゃれつき遊び」を募集することで保護者も一緒に取り組んでいます。

4)新しい施設活用による地域支援の展開拡大が期待されます

施設建て替えにより園舎内に支援スペースが新たに設けられました。この支援スペースは地域の子育て家庭が遊びに来られる居場所を提供しています。支援スペースは自由に参加でき、十分な広さ、おもちゃ、授乳場所があります。園庭には地域用砂場があり地域の子どもの遊び場として開放されています。支援スペースでは講座なども開催され、利用者が増え、地域に根付いてきています。今後は地域の子育て家庭のニーズをもとに、さらに活用して地域支援に貢献していくことが期待されます。

5)活発に遊べる園庭等、設備の整備が望まれます

園庭・園舎を建て替え、計画的な換気や採光を取り入れて全室の環境が整備されています。家具や遊具の素材・配置等の工夫で食事や睡眠の空間を確保し、子どもが心地良さを感じるような環境になっています。環境が整う中で、子どもが一人でくつろいだり、落ち着ける場所が十分ではないとの課題があります。戸外遊びの遊具や園庭をもっと活用できる工夫など環境整備へのさらなる取組が期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今年度は施設を建替え、運営を始めて1年が経った時期に受審をさせていただきました。

保育室の他に地域向けの支援スペースを備えた施設として、在園児の保育や地域の子育て家庭への支援等を職員間で語り合い振り返りができたことで、行っていることの再確認をし、課題も見えました。今後も引き続き、改善すべき点や強化に取り組み、子どもの人権と最善の利益を保障し、より良い保育を行っていきたいと思います。最後になりますが、保護者の皆様やこの度、ご尽力いただいた評価機関の皆様に心より感謝申し上げます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり